

# 事業報告書

令和4年1月1日から令和4年12月31日まで

特定非営利活動法人 隠岐しぜんむら

## 1 事業実施の内容

隠岐の自然環境を保全するための活動として、生物調査・保全活動・環境教育・エコツーリズムを行いました。自然専門機関としての能力を高め、地域資源を発掘し活用することを通して、自然を生かした地域づくりに貢献し、地域住民が受益者となることで、さらに自然が保全されるという循環をつくり出すことを目指して各事業を実施しました。また、自然環境教育の強化を目的とした活動の一環として、森のようちえん「お山の教室」事業もさらなるステップアップへ移行するため行政機関との協議を盛んに実施し、団体運営の基軸と一つになるよう安定化に向けて努めました。

新型コロナ蔓延の度に影響を受け、エコツアーガイド事業や交流事業など島外者と接触する可能性が高い事業の実施が困難な時期がありましたが、昨年度に比べるとWith コロナの風潮も強まり、各イベントや行事の実施に踏み切る傾向となりました。このような動きの中で、常に感染軽減策が求められ、対応を模索しながら事業を推進しました。

### (1) 自然環境保全事業

環境省や、保全調査活動を専門とする公益財団法人と連携し、隠岐の生物調査を実施しました。

① 鳥類調査について、前年度に引き続き鳥学会鳥類目録第8版発行に向けた隠岐地域の調査として、島前地域のみならず島後地域についても調査を強化しました。この中で、新知見としてコシアカツバメの繁殖状況とソウシチョウの隠岐初確認情報を記録として論文を執筆寄稿しました。調査活動報告としては、隠岐の文化財へ隠岐諸島周辺海域の無人島における海洋性海鳥へ負荷となっている状況について執筆寄稿しました。

毎年実施している継続的な調査として、海士町金光寺山にて鳥類標識調査を春、秋の2シーズン実施し、渡り鳥の通過状況の把握を行いました。

② 昆虫部門の調査では、近年未確認であったタガメの確認記録について論文を執筆しました。

③ 地域住民を対象とした自然保護の啓発活動としては、昨年度に引き続き助成金事業を活用してハンドブックを制作しており、第3弾として隠岐・島前の生物について取りまとめたハンドブック発行の準備を進めており、令和5年3月に発行予定です。また、環境省と協働した自然観察会も1回実施しました。

③ 当団体の自主的生物保全活動として、金光寺山のオニヒョウタンボクとホテルカズラ及び諏訪湾の葦原の保全活動、当団体が全面的にサポートしている隠岐島前高校生の自然保全サークルと連携して外来種植物の駆除活動を実施しました。

④ 行政機関との連携事業では、環境省との協働で、昨年度西ノ島町星神島でドブネズミの侵入を確認したことから、緊急的な対策として当団体が委託を受けて殺鼠剤散布によるドブネズミ駆除活動を実施中です。また、海士町教育委員会とも協働し、海士町内の希少種植物の保全を目的とする看板20個の制作も行いました。

### (2) エコツーリズム事業

新型コロナウイルスの影響は未だにあり、昨年度同様予定されていたガイド業務や自然体験がキャンセルになるなど経営的に多大な影響がありました。しかし、前年に比べると観光客の数も増加しており、ガイドや自然体験の実施回数は回復傾向にあり

ます。コロナ禍の影響から観光の形態が変化しており、少人数でのツアー需要や個人でのガイドや体験の依頼が増加してきています。この傾向は、しぜんむらの自然保全や地域の特性を伝えるガイド手法にマッチングが良く、目的に沿ったガイドや自然体験を実施することができました。

今年度は隠岐 DMO 及び島内の観光事業者である（株）島ファクトリー、（株）海士、（株）JTB、（株）FoundingBase 等と連携し、各事業所の目的に合わせたツアー及び体験を実施し、隠岐諸島内での新たな観光事業体制の構築に貢献できました。また、新型コロナの終息時に向けた対策として、助成金を活用した新たなツアーメニューの開発に尽力し、無人島でバードウォッチングとトレッキングを組み合わせた新規ツアーの造成を行いました。さらに、ツアーの中で無人島での海岸の漂着ゴミ回収することで観光と自然環境保全を組み合わせたエコツアー要素を高める内容としました。

島内者向けには、隠岐ジオパーク推進機構と協働して、Entô のジオラウンジや企画展を活用したガイドスキルアップ講座の講師を務めました。また、実際にフィールドに出て動植物などについて学びながら、ガイド力や知識の向上を図りました。

### （3）環境教育事業

海士町教育委員会の委託事業である森のようちえん「お山の教室」の活動は、月曜日～金曜日までの毎日型の開園になり 5 年目を迎えました。昨年度から引き続き園児は定員 14 名を上回る 16 名が在籍して町のニーズはあることが実感できます。しかしながら、海士町の予算の関係から今年度は事業費を削減されるなど、現在の委託事業での継続は難しいと状況になっています。そこで、事業の継続と安定化を図るため、『地方裁量型認定子ども園』に移行する協議を教育委員会と進めています。

昨年度スタートした未就学児以外の自然体験の場・プレーパーク活動は開催回数を年 6 回から 4 回に減らしたものの、参加の子どもが遊びこめるよう、半日開催から一日開催としより良い場へと工夫を重ねています。ボランティア・スタッフとして地元高校生も加わり、地域課題についての学びの場ともなっています。

学校対象の環境教育活動としては、島根県の助成金の活用や隠岐ユネスコ世界ジオパーク推進協議会との連携により、海士町、西ノ島町内の全小中学校への出前授業を安定的に提供できました。コロナ禍により予定していた日程が延期になるということもありましたが、昨年度同様年間 40 日間以上の講師活動を行うことができました。高校に対する取り組みとしては、隠岐島前高校や隠岐高校の環境学習の非常勤講師として継続的に関わっています。また、当団体主催の外来種駆除活動に参加した高校生が自主的な環境保全サークルを立ち上げ、海士町産業文化祭にてセイタカアワダチソウの染め物体験やお茶の試飲の出店を行いました。当日まで学習会を重ね当団体がメンターとなりながら活動を支える形で行っていました。来年度からは年間の活動を計画しており、環境保全活動と環境教育がリンクする形で運営していく見通しです。

保育園においては島根県緑化推進委員会保育園出前講座への申込をきっかけに西ノ島町みた保育園へ 4 回出前講師を行いました。遠足や散歩に同行し海の生き物観察や山歩きをしながら草花遊びを教えたり、保育士の研修会で植物観察を通して自然保育の方法や安全管理を教えたりしました。自然保育を海士町以外の島前地域に広げる新たな活動へと発展しています。

### （4）都市農村交流事業

新型コロナウイルス流行により、指定管理を行っている都市農村交流センターへの宿泊受け入れを令和 3 年度は休止していましたが、世の中の With コロナの状況を踏まえ、令和 4 年度は受け入れを再開しました。以前より感染防止対策は講じていましたが、海士流商業・サービス業感染対応支援事業費補助金を活用し、追加でサーマルカメラ、パーティションなどを設置しました。また、宿泊者の食事については新型コロ

ナの流行状況により BBQ や鍋の提供を控えるなど、状況に合わせた対応を取っています。

受け入れ開始により、大人の合宿や研修の宿泊実績は以下の通りとなりました。高校生・大学生の 20 名近い団体の合宿受け入れが 2 件あり、人数が増える結果となりました。施設利用に関しては、島外の方との交流会が研修ホールで行われ、以下の実績となりました。

宿泊人数合計：148 名      施設利用人数：21 名

一方、自然体験者受け入れにおける施設利用実績は、昨年引き続き堅調です。固定的な週 5 日のお山の教室参加者やインターン生に加え、今年度は昨年と比べ観光目的で来島し、自然体験をする旅行者が倍増しました。しかしながら、島根県の小学生自然体験イベント 3 回分が新型コロナ感染拡大により中止・オンライン開催となったため、合計の利用人数は下回りました。

#### (5) 地域住民生活支援事業

地元保育園の卒園記念写真の撮影を今年度も継続して実施いたしました。また、地域の野良猫抑制対策のための避妊、去勢手術の援助活動を実施しました。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	収支報告書の事業費の金額(単位:千円)
自然環境保全事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の生物調査活動</li> <li>・海岸の保全活動</li> <li>・外来種生物に対する対策及び駆除活動</li> </ul>	(A) 通年 (B) 隠岐郡内 (C) 4人	(D) 隠岐郡の住民 (E) 2,400人	5,340
エコツアーリズム事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコツアーの新メニュー構築</li> <li>・住民向けジオパークガイド講座開催のため、推進協議会との協働</li> <li>・ガイド育成のための講座における講師</li> </ul>	(A) 通年 (B) 隠岐郡内 (C) 4人	(D) 隠岐郡内の観光関係者や商店等、来島者 (E) 200人	12,822
環境教育事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の幼児、小中学生、高校生への環境教育活動</li> <li>・森林環境学習教室の開催</li> <li>・学生、企業、公務員等社会人対象自然環境研修の講師及び助言、補助</li> </ul>	(A) 通年 (B) 隠岐郡内 (C) 13人	(D) 全国 (E) 2200人	28,509
都市農村交流事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・島内者と島外者の交流活動</li> <li>・自然体験者への施設提供</li> </ul>	(A) 通年 (B) 隠岐郡海士町 (C) 4人	(D) 全国から海士町を訪れる旅行者と地域住民 (E) 220	4,240
地域住民生活支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園記念写真撮影</li> <li>・地域野良猫対策の支援</li> </ul>	(A) 通年 (B) 隠岐郡内 (C) 2人	(D) 隠岐郡の住民 (E) 100人	11